

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~Kaiho journal~

第281号

発行日 2025年5月1日発行

4月1日~3日 新人研修

皆さんこんにちは、社長の近藤です。4月1日から3日間、当社の新人研修を行いました。当社の新人研修は、新卒に限らず、直近の1年の間に入社した人を集めて合同で行いますが、今回は5か国13名の参加となりました。（ちなみに5か国とは、日本・ネパール・パキスタン・フィリピン・中国です）

まずは様々な状況がある中で、当社を選び入社してくれたことに対する感謝を私から伝えました。このようなご縁をお互いに大切にしていきたいと思っています。

バブル崩壊後の1990年代には有効求人倍率が0.5倍を下回る時もありましたが、今は売り手市場と言われ、有効求人倍率は昨年で1.25倍という時代です。つまり、仕事を探している人にとってみれば内定をもらいやすく、転職の際にも仕事を見つけやすい環境があります。1社の内定をもらうことに必死だった私たちの時代とは大きく変わりました。

だからこそ、会社の魅力が大切になってきますし、その努力を怠ってはいけないと思っています。

しかし一方で、私は「良い会社に入りたい」と思う人ではなく「良い会社を創りたい」と思っている人を求めています。中小企業ではまだまだ足りない

こともありますが、それを社長や役員が何とかしてくれるというスタンスではなく、社員自ら会社づくりに参加してもらいたいと思っていますし、そんな組織にしたいと思っています。

またそんな気持ちを伝える中で、さらに私が過去に外部の研修に参加した際に教えてもらった「決断が条件を整える」という言葉も、新人に紹介しました。これは「条件」をしっかりと整えてから「決断」しようとする人は、いつまでたっても「決断」ができませんが、反対にある程度の状況を踏まえて「決断」をすると、後からおのずと「条件」が整ってくるという意味です。

周りの環境が整っていなくても、自ら一步を踏み出せるような主体性を期待していますし、そんな行動を起こしやすいような会社創りをしていきたいと思っています。

「良い人がいないと良い会社が創れない」ことは間違いありませんが、一方で「良い会社でないとも良い人は育てられない」ということも言えるかと思えます。これからも、新しく仲間になったメンバーと共に成長していければと思っています。

キラリと光る存在に

●今月の出番 ●
生産部
宮田翔太さん



ときは軽自動車にしようとその時に思いました。そのためにも今は一生懸命に仕事に取り組み、「出来ることから全力で」をモットーにして毎日楽しく頑張っています！

皆さまこんにちは！生産部の宮田翔太です。入社してから約半年になりますが仕事の事を知れば知るほど分からないことが増えている気がします。

話は変わりますが、以前車の調子が悪くなり修理に出したのですが、その時に代車を使うことになりました。代車が来るとき自分はどんな車が来るのか、何に乗れるんだろうとワクワクしてしまいます笑。それで来た代車が現行のワゴンRで、乗ってみて驚きました。室内がとても広く乗り心地も最高でした。日本の軽自動車は凄いなと感動しました。海外の方にも是非この魅力を知っていただきたいです！次に車を乗り換える



農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。4月はかなり暖かく、桜も綺麗に咲き誇っていましたね。見頃の期間が短いだけが残念でした。桜の花もさることながらトマトの黄色い花もどんどん咲き続け、これからたくさんの実をつけてくれることを期待させてくれます。

4月はトマトの収穫量が3月よりもさらに増えて2,000kg以上となります。収穫と出荷ばかりでなく、トマトの栽培管理、他の野菜の植え付けや畑の準備もしています。6月にはジャガイモを収穫予定ですし、また今年もサツマイモとサトイモを植える予定です。

冬を越したニンニクと玉ねぎも大きく成長し、玉ねぎは小さい実が見えてきました。これから実の肥大化が進み、5月末ごろには収穫できる見込みです。ニンニクはその少し前に収穫を予定しています。

5月もトマトの収穫は続きます。先月以上の収穫量と味を確保するために栽培管理が遅れることのないように、また収穫をより迅速にできるように一同励んでいきます。

(担当：畠中)

会宝農園の野菜はこちらのサイトからご購入いただけます。ぜひご覧ください。



社員海外レポート



Kaiho Middle Eastの畳谷です。今年は2月28日から3月29日頃までラマダンがありました。期間中は、日中の断食による疲労や集中力の低下から交通事故が多発します。私自身も事故を2度目撃し、何度も隣のレーンの車と接触しそうになりました。こうした背景の中、ドバイでは2030年までに全交通手段の25%を自動運転化する戦略を推進しており、交通事故の削減や排出ガスの低減、移動効率の向上などが期待されています。去年はDENSOのセーフティ&コックピットシステム、アブダビの自動運転タクシーも体験し、技術の進化と中東市場の可能性を肌で感じました。



ラマダン中のイフタルの様子

イフタルとは、日没後、断食が明けてから食べる食事のこと

今月のパチリ



こんにちは。3月31日から1か月弱、国際連合工業開発機関（UNIDO）のプログラム「アフリカの産業職業訓練プログラム（STePP）」として、タンザニア連合共和国から研修生2名を受け入れ、環境配慮型の使用済自動車リサイクルについての研修を行いました。

この研修は、タンザニアにおける環境配慮型廃自動車（ELV）リサイクル技術の普及を目的とした産業職業訓練プログラムで、当社が長年培ってきた自動車リサイクル技術を活用し、現地の人材育成と産業基盤の強化を目指すものです。これまでにウガンダ共和国、ケニア共和国に同様のプログラムを行っており、今回が3か国目です。先月、当社にて行ったトレーナー育成研修では、解体実習や安全管理などの実践的スキルを2名の研修員に習得してもらいました。今月は、今度は当社社員がタンザニア共和国へ行き、現地のエンジニアに持続可能な自動車リサイクルについて指導をする予定です。今後も、当社はこのプロジェクトを通じてタンザニアの自動車リサイクル産業の発展と、アフリカにおける持続可能な社会づくりに貢献できるよう取り組みを進めてまいります。

(担当：川村)



相場情報 ~生産部より~



2025年4月 見込み台数
入庫台数 800台
処理台数 800台

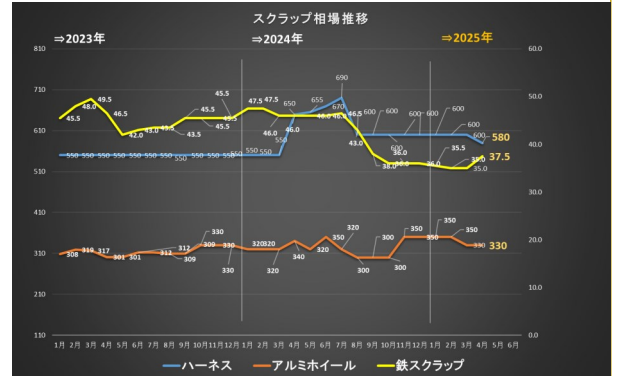
こんにちは、会宝産業の山口です。今年は寒気の影響で桜が長く楽しめたのではないのでしょうか。金沢でも4月の中旬くらいまで咲いており、毎日の通勤を和ませてくれました。

さて、相場はというと・・・アメリカの関税政策に端を発した相場の乱高下に最も影響を受けたのは銅とPGM（貴金属）ではないのでしょうか。

PGMに関しては関税がスタートし、株価に影響が出始めると売りが殺到し8%ほど値を下げる形となりました。その後、PGMは関税政策から除外されると分かるとまた値を戻す結果になりました。

銅に関してもおなじように下落し、こちらは関税政策の一時停止という形で相場が戻りつつあると言われています。

このように、常に相場の影響を踏まえて対応することが必要になります。それと共に、いつも変わらず中古部品として商品を買ってくださるお客様の有難さが身にしみて分かりますね。



今月のピックアップ ~「新人研修」からの「新人プレゼン大会」~

冒頭のページでもご紹介したように、4/1から4/3で新人研修を行いました。フレッシュな新卒の人もいれば、人生経験が豊富な新卒社員の親と同じような年齢の人もいます。そんな研修の参加者は、5か国13名と国際色豊かで、みんな日本語を話せますが、必ずしも全員が流暢なわけではありません。

こんな時に大切なことは雰囲気です。重い雰囲気だと口数が少なくなってしまいますが、明るい雰囲気を創ることができる助け合う空気が生まれます。もちろん研修中には後者の雰囲気となりました。

そんな良い雰囲気が無事に終了した新人研修ですが、このメンバーには「新人プレゼン」という課題が残っています。これはチームごとに6分間のプレゼンを行うのですが、テーマは「会宝産業の素晴らしさ」であり、プレゼンを行う相手は、会社説明会に参加する学生に扮する当社の役員です。これを新人に伝えると「え〜!？」っていう反応(笑) そりゃ〜そうですね。

さらに各チームの技術的な格差を考慮し、プレゼンにおいて「パワーポイント禁止」というルールになっています。だからこそ、各チームの知恵が必要になります。6月の本番に向けての打ち合わせや練習などで、さらに結束が強くなっていくことを期待しています。(担当: 佐藤)

会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝キッチン
Instagram

